

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／株式	
信託期間	2017年1月18日（当初設定日）から無期限です。	
運用方針	世界主要市場のバイオ医薬品関連企業の株式に投資することにより、信託財産の積極的な成長を目指します。	
主要投資対象	当ファンド	ピクテ・バイオ医薬品マザーファンド受益証券
	マザーファンド	世界のバイオ医薬品関連企業の株式
運用方法	①主として、マザーファンド受益証券に投資します。 ②実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。	
主な投資制限	当ファンド	①株式への実質投資割合には制限を設けません。ただし、未上場株式および未登録株式への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以内とします。 ②同一銘柄の株式への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以内とします。 ③外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。
	マザーファンド	①株式への投資割合には制限を設けません。ただし、未上場株式および未登録株式への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以内とします。 ②同一銘柄の株式への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以内とします。 ③外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
分配方針	毎決算時に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。 ①分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた利子・配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。 ②収益分配金額は、基準価額の水準および市況動向等を勘案して委託者が決定します。また、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。 ③留保益の運用については、特に制限を設けず、委託者の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。	



PICTET

ピクテ・バイオ医薬品 ファンド(1年決算型) 為替ヘッジなしコース

運用報告書(全体版)

第6期

決算日：2022年4月13日

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、「ピクテ・バイオ医薬品ファンド(1年決算型) 為替ヘッジなしコース」は、2022年4月13日に第6期の決算を行いましたので期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。

ピクテ投信投資顧問株式会社

東京都千代田区丸の内2-2-1

お問い合わせ窓口

投資信託営業部

電話番号 03-3212-1805

受付時間：委託者の営業日の午前9時から午後5時まで

ホームページ：www.pictet.co.jp

40
Years in Japan

■最近5期の運用実績

決算期	基準価額			参考指数		株式 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率		期中 騰落率		
	円	円	%		%	%	百万円
2期(2018年4月13日)	10,429	0	2.7	11,117	9.7	97.6	1,333
3期(2019年4月15日)	11,080	0	6.2	12,048	8.4	97.7	2,944
4期(2020年4月13日)	10,767	0	△2.8	11,947	△0.8	99.1	2,828
5期(2021年4月13日)	13,324	0	23.7	15,563	30.3	99.2	3,024
6期(2022年4月13日)	14,926	0	12.0	16,133	3.7	99.2	2,750

(注1) 当ファンドはマザーファンドを組入れますので、「株式組入比率」は、実質比率を記載しています。

(注2) 参考指数は、ナスダック・バイオテック指数を委託者が円換算し、設定日(2017年1月18日)を10,000として指数化したものです。

■当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		参考指数		株式 組入比率
		騰落率		騰落率	
(期首)	円	%		%	%
2021年4月13日	13,324	—	15,563	—	99.2
4月末	13,859	4.0	16,354	5.1	99.3
5月末	13,922	4.5	16,139	3.7	99.5
6月末	14,954	12.2	17,497	12.4	99.4
7月末	14,862	11.5	17,376	11.6	98.9
8月末	15,388	15.5	18,017	15.8	100.0
9月末	14,834	11.3	17,519	12.6	99.3
10月末	14,906	11.9	17,553	12.8	99.2
11月末	14,457	8.5	16,966	9.0	99.3
12月末	14,477	8.7	16,838	8.2	99.4
2022年1月末	13,132	△1.4	14,429	△7.3	99.8
2月末	12,886	△3.3	14,296	△8.1	99.0
3月末	14,358	7.8	15,782	1.4	99.4
(期末)					
2022年4月13日	14,926	12.0	16,133	3.7	99.2

(注1) 騰落率は期首比です。

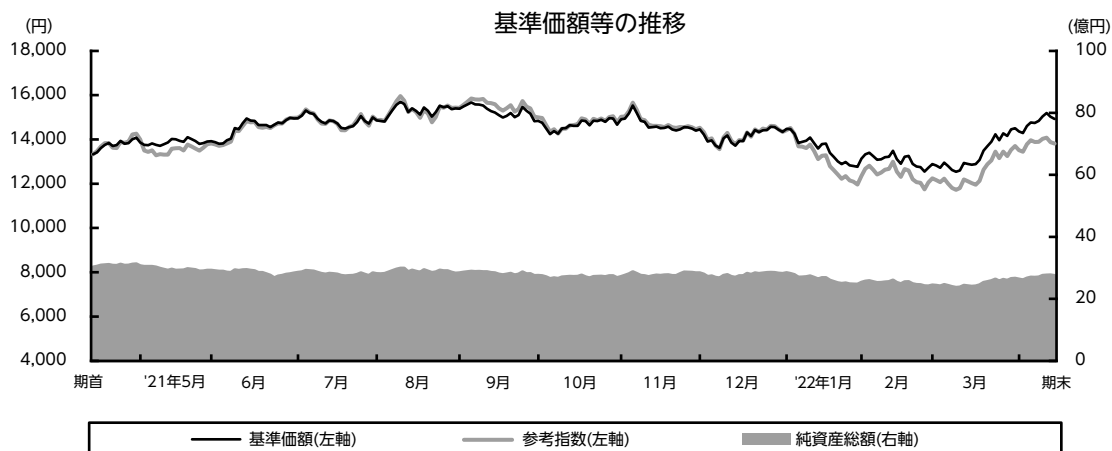
(注2) 当ファンドはマザーファンドを組入れますので、「株式組入比率」は、実質比率を記載しています。

(注3) 参考指数は、ナスダック・バイオテック指数を委託者が円換算し、設定日(2017年1月18日)を10,000として指数化したものです。

■当期中の運用状況と今後の運用方針 (2021年4月14日から2022年4月13日まで)

1. 基準価額等の推移

当期の基準価額は、12.0%の上昇となりました。



※参考指数は期首の基準価額に合わせて指数化しています。

◇主な変動要因

【当期前半】

- 上昇▲ ・実質的に組入れているモデルナ（米国・バイオテクノロジー）やアストラゼネカ（英国・医薬品）などの株価が上昇したこと
- 上昇▲ ・円に対して米ドルが上昇したこと

【当期後半】

- 上昇▲ ・円に対して米ドルが上昇したこと
- 下落▼ ・実質的に組入れているモデルナ（米国、医薬品・バイオテクノロジー）やバイオジェン（米国、医薬品・バイオテクノロジー）などの株価が下落したこと

2. 投資環境

- ・ バイオ医薬品関連株式市場は、期首から9月中旬にかけては、アルツハイマー型認知症治療薬が承認されたことに加え、新型コロナウイルスのデルタ変異株の感染が世界中に拡大していることを背景に関連銘柄の株価が上昇したことなどから堅調に推移しました。その後10月にかけては、中国不動産開発大手の債務不履行（デフォルト）懸念に加え、世界的なインフレ圧力の高まりと米連邦準備制度理事会（FRB）による早期の利上げへの懸念などから世界の株式市場が下落する中、バイオ市場医薬品関連株式についても下落しました。12月にかけては、中小型株や新規株式公開（IPO）銘柄が軟調に推移したことや治験の失敗および規制当局の承認申請却下が相次いだことなどがマイナス要因となり、下落しました。2022年1月から2月にかけては、主要中央銀行による金融政策正常化の動きが意識されたほかロシアによるウクライナ侵攻も投資家心理を冷やし株式市場が全般に軟調に推移する中、バイオ医薬品株式も下落しました。その後期末にかけては、原油価格上昇が一服したことやロシアとウクライナの停戦への期待が高まったことなどを背景に上昇した後、FRBの金融引き締め加速を睨んだ長期金利上昇や、ウクライナ戦争の長期化などが意識されはじめると、上昇幅を縮小しました。
- ・ 為替市場は、4月は米国長期金利の上昇に一服感が見られ、一時米ドルは円に対して下落したものの、5月は日本の新型コロナウイルスワクチン接種の進捗に遅れが見られたことなどから円に対して上昇しました。6月は米連邦公開市場委員会（FOMC）で市場の想定よりも早い利上げの可能性が示唆されたことなどを背景に米ドルは対円で底堅く推移しました。7月から9月中旬は、新型コロナウイルスの変異株感染拡大による警戒感が広がったことや米中の一部の経済指標が軟調な内容となったことなどから、円に対して米ドルは下落しました。その後10月にかけては、FRBによる早期の利上げ観測が高まったことなどを背景に米長期金利が上昇し、日米金利差が拡大したことから、円に対して米ドルは大きく上昇しました。11月中旬まではFRBによる金融政策正常化観測などを受けて、米ドル高・円安となりました。11月下旬から2022年2月にかけては、新型コロナウイルスのオミクロン株への警戒感などから米ドル安・円高となる局面もありましたが、FRBの金融引き締め観測が高まったことなどから総じて米ドル高・円安の展開となりました。その後期末にかけては、ウクライナ戦争の長期化に伴う商品価格上昇などを背景に世界的にインフレ懸念が高まる中、FRBが金融引き締め姿勢を積極化させる一方で日本銀行は金融緩和姿勢を維持するとの見方などから、米ドル高・円安が進行しました。

3. 組入状況

当ファンドが主要投資対象とするピクテ・バイオ医薬品マザーファンド受益証券への投資比率を高位に維持してまいりました。実質的な外貨建資産につきましては原則として為替ヘッジを行いませんでした。

<マザーファンドの組入状況>

主に世界のバイオ医薬品関連企業の株式に投資を行ってまいりました。

◇国・地域別組入比率

【期首】

国・地域名	組入比率
米国	89.2%
英国	4.5%
フランス	2.9%
スペイン	2.6%
ドイツ	0.4%
カナダ	0.1%



【期末】

国・地域名	組入比率
米国	84.8%
英国	5.9%
フランス	4.9%
スペイン	1.6%
ドイツ	1.5%
中国	0.6%
オランダ	0.4%

◇業種別組入比率

【期首】

業種名	組入比率
バイオテクノロジー	73.4%
医薬品	19.4%
ライフサイエンス関連	7.0%



【期末】

業種名	組入比率
バイオテクノロジー	76.5%
医薬品	17.6%
ライフサイエンス関連	5.6%

(注) 組入比率はマザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。

◇組入上位10銘柄

【期首】

銘柄名	国名	業種名	組入比率
アムジェン	米国	バイオテクノロジー	8.5%
ギリアド・サイエンシズ	米国	バイオテクノロジー	8.5%
ユナイテッド・セラピューティクス	米国	バイオテクノロジー	7.0%
バイオジェン	米国	バイオテクノロジー	5.4%
PRAヘルス・サイエンシズ	米国	ライフサイエンス関連	5.1%
ジャズ・ファーマシューティカルズ	米国	医薬品	4.9%
アレクシオン・ファーマシューティカルズ	米国	バイオテクノロジー	4.9%
リジェネロン・ファーマシューティカルズ	米国	バイオテクノロジー	4.8%
モデルナ	米国	バイオテクノロジー	4.7%
インサイト	米国	バイオテクノロジー	4.3%

【期末】

銘柄名	国名	業種名	組入比率
アムジェン	米国	バイオテクノロジー	9.0%
ギリアド・サイエンシズ	米国	バイオテクノロジー	7.4%
リジェネロン・ファーマシューティカルズ	米国	バイオテクノロジー	7.0%
アストラゼネカ (ADR)	英国	医薬品	5.9%
サノフィ (ADR)	フランス	医薬品	4.9%
バーテックス・ファーマシューティカルズ	米国	バイオテクノロジー	4.6%
イルミナ	米国	ライフサイエンス関連	3.7%
バイオジェン	米国	バイオテクノロジー	3.6%
インサイト	米国	バイオテクノロジー	3.5%
ジャズ・ファーマシューティカルズ	米国	医薬品	3.4%



(注) 組入比率はマザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。

期末の組入上位銘柄は、

- － アムジェン : 白血球生成促進剤や関節リウマチ治療薬などが主力で、治療薬の発見、開発、製造、販売などを手がける。
- － ギリアド・サイエンシズ : HIVやC型肝炎など感染症治療薬の分野に強みを持つ。
- － リジェネロン・ファーマシューティカルズ : がんや慢性炎症、関節リウマチなどの治療薬の研究開発や商品化を手がける。
- － アストラゼネカ (ADR) : がん、循環器・代謝疾患、呼吸器・炎症・自己免疫疾患などを中心に幅広い分野において医療用医薬品の創薬、開発、製造および販売を行う製薬会社大手。
- － サノフィ (ADR) : グローバルに事業を展開する製薬企業。医薬品の創薬発見・開発・販売を行う。循環器系や中枢神経系の疾患、内科的疾患、がんなどの治療薬が主要分野。

などとなりました。

4. 収益分配金

当期の収益分配は、基準価額の水準および市況動向等を勘案し、見送りとさせていただきます。
なお、収益分配にあてなかった留保益の運用については、特に制限を設けず、委託者の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。

◇分配原資の内訳

(単位：円・%、1万口当たり、税引前)

項目	第6期
	自 2021年4月14日 至 2022年4月13日
当期分配金	—
(対基準価額比率)	—
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	4,926

(注1) 対基準価額比率は当期分配金(税引前)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、当ファンドの収益率とは異なります。

(注2) 「当期の収益」および「当期の収益以外」は小数点以下を切捨てて表示しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

5. 今後の運用方針

(1) 投資環境

株式市場は、世界的なインフレ懸念や米国などでの金融引き締め動き、ロシア・ウクライナ問題などの要因から株価変動が大きくなることも考えられ、規模の小さな中小型の銘柄が多いバイオ医薬品企業の株価はさらに変動が大きくなる可能性もあります。しかしながら、バイオ医薬品企業のファンダメンタルズ(基礎的条件)は健全であると見ており、イノベーションが急速に進み、長期的な株主価値増大の機会を生み出す、市場でも数少ない分野の一つであると考えています。バイオ医薬品企業を含む医薬品業界が、新型コロナウイルスのパンデミック(世界的大流行)に対して重要な役割を果たしており、その技術面での社会的貢献度の高さも価値の増大につながるものと考えます。また、世界的に経済活動正常化の動きが広がる中、通院や治療に人が戻ってくることは、業績面や臨床試験などの面でバイオ医薬品企業にとってプラスに働くものと考えます。加えて、バイオ医薬品関連企業は、多くの画期的な治療薬を提供し続け、相対的に高い利益成長が期待されます。今後も魅力的な新薬候補や高い技術力を求めて、大手医薬品企業がバイオ医薬品関連企業を買収する動きは継続すると考えています。企業価値を高める上で、薬価引き下げの動きや治験結果の発表、決算の内容などの株価に影響を与える要因や可能性なども併せて注視していくことが必要と考えています。

(2) 投資方針

ピクテ・バイオ医薬品マザーファンド受益証券への投資を通じて世界のバイオ医薬品関連企業の株式に投資を行ってまいります。

実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。

<マザーファンド>

世界のバイオ医薬品関連企業の株式に投資を行ってまいります。

■ 1万口（元本10,000円）当たりの費用明細

項目	当期 (2021年4月14日~2022年4月13日)		項目の概要
	金額	比率	
平均基準価額	14,336円	—	期中の平均基準価額（月末値の平均値）です。
(a) 信託報酬 (投信会社)	300円 (158)	2.090% (1.100)	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ・ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、各種情報提供等、基準価額の算出等の対価
(販売会社)	(126)	(0.880)	・購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続等の対価
(受託会社)	(16)	(0.110)	・ファンドの財産の保管・管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	0	0.003	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数
(株式会社)	(0)	(0.003)	・売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有価証券取引税	1	0.005	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数
(株式会社)	(1)	(0.005)	・有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) その他費用	5	0.038	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保管費用)	(2)	(0.014)	・保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	(2)	(0.015)	・監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(その他)	(1)	(0.009)	・その他は、信託事務の処理等に要する諸費用
合計	306	2.136	

(注1) 上記の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、設定・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、各項目毎に小数第3位未満は四捨五入しています。

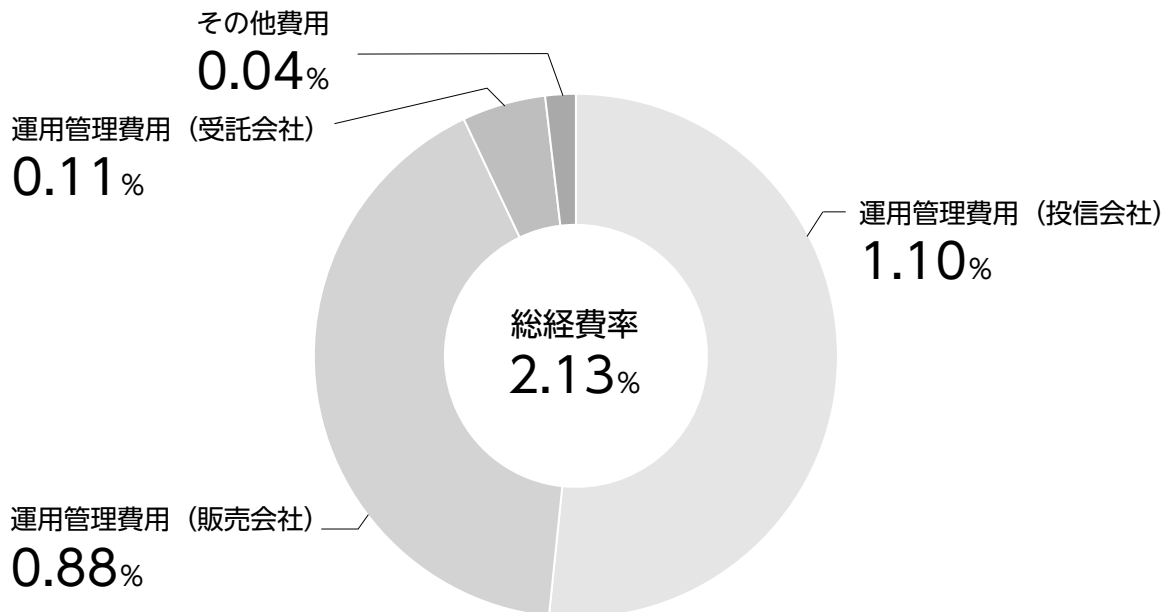
(注3) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当ファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注4) 各金額の円未満は四捨五入しています。

(参考情報)

■総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）**は**2.13%**です。



(注1) 上記の費用は、「1万口当たりの費用明細」において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

■親投資信託受益証券の設定、解約状況 (2021年4月14日から2022年4月13日まで)

	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
	千口	千円	千口	千円
ピクテ・バイオ医薬品マザーファンド	105,828	811,880	195,704	1,458,460

(注) 単位未満は切り捨てています。

■親投資信託における株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項目	当期
(a) 期中の株式売買金額	59,166,609千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	62,829,590千円
(c) 売買高比率(a)／(b)	0.94

(注1) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均です。

(注2) 単位未満は切り捨てています。

■利害関係人との取引状況等 (2021年4月14日から2022年4月13日まで)

該当事項はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人をいいます。

■自社による当ファンドの設定・解約状況 (2021年4月14日から2022年4月13日まで)

該当事項はありません。

■特定資産の価格等の調査 (2021年4月14日から2022年4月13日まで)

該当事項はありません。

■組入資産の明細 (2022年4月13日現在)

親投資信託残高

種類	期首(前期末)	当期末	
	□数	□数	評価額
	千□	千□	千円
ピクテ・バイオ医薬品マザーファンド	438,241	348,365	2,737,946

(注) 単位未満は切り捨てています。

■投資信託財産の構成 (2022年4月13日現在)

項目	当期末	
	評価額	比率
	千円	%
ピクテ・バイオ医薬品マザーファンド	2,737,946	98.0
コール・ローン等、その他	56,282	2.0
投資信託財産総額	2,794,228	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切り捨てています。

(注2) ピクテ・バイオ医薬品マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産 (60,249,154千円) の投資信託財産総額 (61,711,780千円) に対する比率は97.6%です。

(注3) ピクテ・バイオ医薬品マザーファンドにおける外貨建資産は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、当期末における邦貨換算レートは、1米ドル=125.62円です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2022年4月13日現在)

項目	当期末
(A)資産	2,794,228,935円
コール・ローン等	41,012,775
ピクテ・バイオ医薬品 マザーファンド(評価額)	2,737,946,160
未収入金	15,270,000
(B)負債	43,912,554
未払解約金	15,997,455
未払信託報酬	27,706,821
未払利息	112
その他未払費用	208,166
(C)純資産総額(A-B)	2,750,316,381
元本	1,842,617,037
次期繰越損益金	907,699,344
(D)受益権総口数	1,842,617,037口
1万口当たり基準価額(C/D)	14,926円

■損益の状況

当期 (自2021年4月14日 至2022年4月13日)

項目	当期
(A)配当等収益	△ 13,713円
支払利息	△ 13,713
(B)有価証券売買損益	260,500,465
売買益	370,808,895
売買損	△ 110,308,430
(C)信託報酬等	△ 58,322,591
(D)当期損益金(A+B+C)	202,164,161
(E)前期繰越損益金	206,332,332
(F)追加信託差損益金	499,202,851
(配当等相当額)	(124,041,188)
(売買損益相当額)	(375,161,663)
(G)計(D+E+F)	907,699,344
(H)収益分配金	0
次期繰越損益金(G+H)	907,699,344
追加信託差損益金	499,202,851
(配当等相当額)	(124,555,193)
(売買損益相当額)	(374,647,658)
分配準備積立金	408,496,493

<注記事項 (当運用報告書作成時点では、監査未了です。) >
(貸借対照表関係)

(注1) 期首元本額	2,270,191,696円
期中追加設定元本額	889,934,715円
期中一部解約元本額	1,317,509,374円
(注2) 1口当たり純資産額	1.4926円

- (注1) 損益の状況の中で**(B)有価証券売買損益**は期末の評価換えによるものを含みます。
- (注2) 損益の状況の中で**(C)信託報酬等**には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
- (注3) 損益の状況の中で**(F)追加信託差損益金**とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
- (注4) 第6期計算期間末における費用控除後の配当等収益(16,742,653円)、費用控除後の有価証券等損益額(185,421,508円)、信託約款に規定する収益調整金(499,202,851円)および分配準備積立金(206,332,332円)より分配対象収益は907,699,344円(10,000口当たり4,926円)ですが、当期に分配した金額はありません。
- (注5) 主要投資対象である親投資信託受益証券において、信託財産の運用の指図に係る権限の全部又は一部を委託するために要する費用
当該親投資信託受益証券に係る信託財産の純資産総額のうち、当ファンドに対応する部分の年率0.50%以内の額

<お知らせ>

ピクテ投信投資顧問株式会社は、2022年7月1日付けで、商号を「ピクテ・ジャパン株式会社」に変更します。

ピクテ・バイオ医薬品マザーファンド

運用状況のご報告

第22期（決算日：2022年4月13日）
（計算期間：2021年4月14日～2022年4月13日）

受益者のみなさまへ

「ピクテ・バイオ医薬品マザーファンド」は、「ピクテ・バイオ医薬品ファンド（1年決算型）円コース」、「ピクテ・バイオ医薬品ファンド（毎月決算型）為替ヘッジなしコース」、「iTrustバイオ」、「ピクテ・バイオ医薬品ファンドⅡ（適格機関投資家専用）」および「ピクテ・バイオ医薬品ファンド（1年決算型）為替ヘッジなしコース」が投資対象とするマザーファンドで、信託財産の実質的な運用を行っております。

以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第22期の運用状況をご報告申し上げます。

●当マザーファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	世界主要市場のバイオ医薬品関連企業の株式に投資することにより、信託財産の積極的な成長を目指します。
主要投資対象	世界のバイオ医薬品関連企業の株式
主な投資制限	株式への投資割合…制限を設けません。 外貨建資産への投資割合…制限を設けません。

■最近5期の運用実績

決算期	基準価額		参考指数		株式 組入比率	純資産 総額
		期中 騰落率		期中 騰落率		
	円	%		%	%	百万円
18期(2018年4月13日)	50,394	4.8	34,579	9.7	98.0	36,087
19期(2019年4月15日)	54,640	8.4	37,476	8.4	98.1	77,309
20期(2020年4月13日)	54,327	△ 0.6	37,162	△ 0.8	99.5	76,832
21期(2021年4月13日)	68,681	26.4	48,408	30.3	99.7	66,765
22期(2022年4月13日)	78,594	14.4	50,180	3.7	99.7	60,952

(注) 参考指数は、ナスダック・バイオテック指数を委託者が円換算し、設定日(2000年4月14日)を10,000として指数化したものです。

■当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		参考指数		株式 組入比率
		騰落率		騰落率	
(期首)	円	%		%	%
2021年4月13日	68,681	—	48,408	—	99.7
4月末	71,524	4.1	50,867	5.1	99.7
5月末	71,977	4.8	50,199	3.7	99.8
6月末	77,455	12.8	54,425	12.4	99.4
7月末	77,110	12.3	54,047	11.6	98.8
8月末	79,983	16.5	56,041	15.8	99.7
9月末	77,249	12.5	54,494	12.6	98.8
10月末	77,789	13.3	54,597	12.8	99.6
11月末	75,577	10.0	52,773	9.0	99.4
12月末	75,814	10.4	52,374	8.2	99.4
2022年1月末	68,903	0.3	44,881	△ 7.3	99.6
2月末	67,725	△ 1.4	44,467	△ 8.1	98.7
3月末	75,557	10.0	49,089	1.4	98.9
(期末)					
2022年4月13日	78,594	14.4	50,180	3.7	99.7

(注1) 騰落率は期首比です。

(注2) 参考指数は、ナスダック・バイオテック指数を委託者が円換算し、設定日(2000年4月14日)を10,000として指数化したものです。

■当期中の運用状況と今後の運用方針 (2021年4月14日から2022年4月13日まで)

1. 基準価額等の推移

当期の基準価額は、14.4%の上昇となりました。



※参考指数は期首の基準価額に合わせて指数化しています。

◇主な変動要因

【当期前半】

- 上昇↑ ・ 組入れているモデルナ（米国・バイオテクノロジー）やアストラゼネカ（英国・医薬品）などの株価が上昇したこと
- 上昇↑ ・ 円に対して米ドルが上昇したこと

【当期後半】

- 上昇↑ ・ 円に対して米ドルが上昇したこと
- 下落↓ ・ 組入れているモデルナ（米国、医薬品・バイオテクノロジー）やバイオジェン（米国、医薬品・バイオテクノロジー）などの株価が下落したこと

2. 投資環境

・ バイオ医薬品関連株式市場は、期首から9月中旬にかけては、アルツハイマー型認知症治療薬が承認されたことに加え、新型コロナウイルスのデルタ変異株の感染が世界中に拡大していることを背景に関連銘柄の株価が上昇したことなどから堅調に推移しました。その後10月にかけては、中国不動産開発大手の債務不履行（デフォルト）懸念に加え、世界的なインフレ圧力の高まりと米連邦準備制度理事会（FRB）による早期の利上げへの懸念などから世界の株式市場が下落する中、バイオ市場医薬関連株式についても下落しました。12月にかけては、中小型株や新規株式公開（IPO）銘

柄が軟調に推移したことや治験の失敗および規制当局の承認申請却下が相次いだことなどがマイナス要因となり、下落しました。2022年1月から2月にかけては、主要中央銀行による金融政策正常化の動きが意識されたほかロシアによるウクライナ侵攻も投資家心理を冷やし株式市場が全般に軟調に推移する中、バイオ医薬品株式も下落しました。その後期末にかけては、原油価格上昇が一服したことやロシアとウクライナの停戦への期待が高まったことなどを背景に上昇した後、FRBの金融引き締め加速を睨んだ長期金利上昇や、ウクライナ戦争の長期化などが意識されはじめると、上昇幅を縮小しました。

- ・為替市場は、4月は米国長期金利の上昇に一服感が見られ、一時米ドルは円に対して下落したものの、5月は日本の新型コロナウイルスワクチン接種の進捗に遅れが見られたことから円に対して上昇しました。6月は米連邦公開市場委員会（FOMC）で市場の想定よりも早い利上げの可能性が示唆されたことなどを背景に米ドルは対円で底堅く推移しました。7月から9月中旬は、新型コロナウイルスの変異株感染拡大による警戒感が広がったことや米中の一部の経済指標が軟調な内容となったことなどから、円に対して米ドルは下落しました。その後10月にかけては、FRBによる早期の利上げ観測が高まったことなどを背景に米長期金利が上昇し、日米金利差が拡大したことから、円に対して米ドルは大きく上昇しました。11月中旬まではFRBによる金融政策正常化観測などを受けて、米ドル高・円安となりました。11月下旬から2022年2月にかけては、新型コロナウイルスのオミクロン株への警戒感などから米ドル安・円高となる局面もありましたが、FRBの金融引き締め観測が高まったことなどから総じて米ドル高・円安の展開となりました。その後期末にかけては、ウクライナ戦争の長期化に伴う商品価格上昇などを背景に世界的にインフレ懸念が高まる中、FRBが金融引き締め姿勢を積極化させる一方で日本銀行は金融緩和姿勢を維持するとの見方などから、米ドル高・円安が進行しました。

3. 組入状況

主に世界のバイオ医薬品関連企業の株式に投資を行ってまいりました。

◇国・地域別組入比率

【期首】

国・地域名	組入比率
米国	89.2%
英国	4.5%
フランス	2.9%
スペイン	2.6%
ドイツ	0.4%
カナダ	0.1%



【期末】

国・地域名	組入比率
米国	84.8%
英国	5.9%
フランス	4.9%
スペイン	1.6%
ドイツ	1.5%
中国	0.6%
オランダ	0.4%

(注) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

◇業種別組入比率

【期首】

業種名	組入比率
バイオテクノロジー	73.4%
医薬品	19.4%
ライフサイエンス関連	7.0%

(注) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

【期末】

業種名	組入比率
バイオテクノロジー	76.5%
医薬品	17.6%
ライフサイエンス関連	5.6%

◇組入上位10銘柄

【期首】

銘柄名	国名	業種名	組入比率
アムジェン	米国	バイオテクノロジー	8.5%
ギリアド・サイエンシズ	米国	バイオテクノロジー	8.5%
ユナイテッド・セラピューティクス	米国	バイオテクノロジー	7.0%
バイオジェン	米国	バイオテクノロジー	5.4%
PRAヘルス・サイエンシズ	米国	ライフサイエンス関連	5.1%
ジャズ・ファーマシューティカルズ	米国	医薬品	4.9%
アレクシオン・ファーマシューティカルズ	米国	バイオテクノロジー	4.9%
リジェネロン・ファーマシューティカルズ	米国	バイオテクノロジー	4.8%
モデルナ	米国	バイオテクノロジー	4.7%
インサイト	米国	バイオテクノロジー	4.3%

(注) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

【期末】

銘柄名	国名	業種名	組入比率
アムジェン	米国	バイオテクノロジー	9.0%
ギリアド・サイエンシズ	米国	バイオテクノロジー	7.4%
リジェネロン・ファーマシューティカルズ	米国	バイオテクノロジー	7.0%
アストラゼネカ (ADR)	英国	医薬品	5.9%
サノフィ (ADR)	フランス	医薬品	4.9%
バーテックス・ファーマシューティカルズ	米国	バイオテクノロジー	4.6%
イルミナ	米国	ライフサイエンス関連	3.7%
バイオジェン	米国	バイオテクノロジー	3.6%
インサイト	米国	バイオテクノロジー	3.5%
ジャズ・ファーマシューティカルズ	米国	医薬品	3.4%

期末の組入上位銘柄は、

- － アムジェン : 白血球生成促進剤や関節リウマチ治療薬などが主力で、治療薬の発見、開発、製造、販売などを手がける。
- － ギリアド・サイエンシズ : HIVやC型肝炎など感染症治療薬の分野に強みを持つ。
- － リジェネロン・ファーマシューティカルズ : がんや慢性炎症、関節リウマチなどの治療薬の研究開発や商品化を手がける。
- － アストラゼネカ (ADR) : がん、循環器・代謝疾患、呼吸器・炎症・自己免疫疾患などを中心に幅広い分野において医療用医薬品の創薬、開発、製造および販売を行う製薬会社大手。
- － サノフィ (ADR) : グローバルに事業を展開する製薬企業。医薬品の創薬発見・開発・販売を行う。循環器系や中枢神経系の疾患、内科的疾患、がんなどの治療薬が主要分野。

などとなりました。

4. 今後の運用方針

(1) 投資環境

株式市場は、世界的なインフレ懸念や米国などでの金融引き締め動き、ロシア・ウクライナ問題などの要因から株価変動が大きくなることも考えられ、規模の小さな中小型の銘柄が多いバイオ医薬品企業の株価はさらに変動が大きくなる可能性もあります。しかしながら、バイオ医薬品企業のファンダメンタルズ（基礎的条件）は健全であると見ており、イノベーションが急速に進み、長期的な株主価値増大の機会を生み出す、市場でも数少ない分野の一つであると考えています。バイオ医薬品企業を含む医薬品業界が、新型コロナウイルスのパンデミック（世界的大流行）に対して重要な役割を果たしており、その技術面での社会的貢献度の高さも価値の増大につながるものと考えます。また、世界的に経済活動正常化の動きが広がる中、通院や治療に人が戻ってくることは、業績面や臨床試験などの面でバイオ医薬品企業にとってプラスに働くものと考えます。加えて、バイオ医薬品関連企業は、多くの画期的な治療薬を提供し続け、相対的に高い利益成長が期待されます。今後も魅力的な新薬候補や高い技術力を求めて、大手医薬品企業がバイオ医薬品関連企業を買収する動きは継続すると考えています。企業価値を図る上で、薬価引き下げの動きや治験結果の発表、決算の内容などの株価に影響を与える要因や可能性なども併せて注視していくことが必要と考えています。

(2) 投資方針

世界のバイオ医薬品関連企業の株式に投資を行ってまいります。

■ 1万口（元本10,000円）当たりの費用明細

項目	当期 (2021年4月14日~2022年4月13日)		項目の概要
	金額	比率	
平均基準価額	74,721円	—	期中の平均基準価額（月末値の平均値）です。
(a) 売買委託手数料 (株 式)	3円 (3)	0.003% (0.003)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ・ 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) 有価証券取引税 (株 式)	3 (3)	0.004 (0.004)	(b) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ・ 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) その他費用 (保 管 費 用) (そ の 他)	17 (11) (7)	0.023 (0.014) (0.009)	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 ・ 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用 ・ その他は、信託事務の処理等に要する費用
合計	23	0.030	

(注1) 上記の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、設定・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、各項目毎に小数第3位未満は四捨五入しています。

(注3) 各金額の円未満は四捨五入しています。

■ 当期中の売買および取引の状況（2021年4月14日から2022年4月13日まで）

株式

		買付		売付	
		株数	金額	株数	金額
外国	アメリカ	百株	千米ドル	百株	千米ドル
		64,138	205,142	62,828	324,134
		(△ 2,067)	(4,026)	(721)	(12,691)

(注1) 金額は受渡代金です。

(注2) 単位未満は切り捨てています。

(注3) ()内は株式分割、予約権行使、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

■株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項目	当期
(a) 期中の株式売買金額	59,166,609千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	62,829,590千円
(c) 売買高比率(a)／(b)	0.94

(注1) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均です。

(注2) 単位未満は切り捨てています。

■主要な売買銘柄 (2021年4月14日から2022年4月13日まで)

株式

買付				売付			
銘柄	株数	金額	平均単価	銘柄	株数	金額	平均単価
	千株	千円	円		千株	千円	円
ASTRAZENECA PLC-SPONS ADR (アメリカ)	399	2,493,594	6,245	ALEXION PHARMACEUTICALS INC (アメリカ)	192	3,807,500	19,779
ILLUMINA INC (アメリカ)	42	2,137,940	50,420	MODERNA INC (アメリカ)	106	3,678,613	34,592
BIONTECH SE-ADR (アメリカ)	32	884,285	27,214	PRA HEALTH SCIENCES INC (アメリカ)	153	2,866,525	18,659
SYNEOS HEALTH INC (アメリカ)	90	862,526	9,542	ASTRAZENECA PLC-SPONS ADR (アメリカ)	430	2,858,217	6,643
IONIS PHARMACEUTICALS INC (アメリカ)	216	850,429	3,936	UNITED THERAPEUTICS CORP (アメリカ)	133	2,749,830	20,562
SANOFI-ADR (アメリカ)	143	848,477	5,920	GILEAD SCIENCES INC (アメリカ)	240	1,884,158	7,826
SAREPTA THERAPEUTICS INC (アメリカ)	86	816,893	9,497	JAZZ PHARMACEUTICALS PLC (アメリカ)	87	1,741,001	19,923
ALNYLAM PHARMACEUTICALS INC (アメリカ)	38	707,255	18,289	BIOGEN INC (アメリカ)	45	1,733,060	38,103
NEUROCRINE BIOSCIENCES INC (アメリカ)	63	668,107	10,524	AMGEN INC (アメリカ)	54	1,428,994	26,444
BLUEBIRD BIO INC (アメリカ)	248	665,004	2,680	INCYTE CORP (アメリカ)	124	1,081,033	8,677

(注1) 金額は受渡代金です。

(注2) 単位未満は切り捨てています。

■利害関係人との取引状況等 (2021年4月14日から2022年4月13日まで)

該当事項はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人をいいます。

■特定資産の価格等の調査 (2021年4月14日から2022年4月13日まで)

該当事項はありません。

■組入資産の明細 (2022年4月13日現在)

外国株式

上場、登録株式

銘柄	期首(前期末)		当期末		業種等
	株数	株数	評価額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ…米国店頭市場)	百株	百株	千米ドル	千円	
ACADIA PHARMACEUTICALS INC	1,436	1,014	2,374	298,283	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
ADAPTIVE BIOTECHNOLOGIES	—	1,395	1,673	210,258	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
AGIOS PHARMACEUTICALS INC	1,214	1,178	3,355	421,516	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
ALEXION PHARMACEUTICALS INC	1,925	—	—	—	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
ALNYLAM PHARMACEUTICALS INC	239	545	8,703	1,093,392	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
AMGEN INC	2,085	1,751	43,793	5,501,308	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
AMICUS THERAPEUTICS INC	3,506	3,883	3,254	408,834	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
AMPHASTAR PHARMACEUTICALS IN	304	—	—	—	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
ARBUTUS BIOPHARMA CORP	2,091	—	—	—	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
ARDELYX INC	875	—	—	—	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
ARCTURUS THERAPEUTICS HOLDIN	171	482	1,293	162,533	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
ASTRAZENECA PLC-SPONS ADR	4,497	4,187	28,730	3,609,169	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
AVADEL PHARMACEUTICALS-ADR	997	—	—	—	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
BEAM THERAPEUTICS INC	—	136	685	86,069	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
BEIGENE LTD-ADR	—	146	2,671	335,553	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
BIOMARIN PHARMACEUTICAL INC	1,547	1,465	12,100	1,520,076	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
BIOGEN INC	1,254	828	17,239	2,165,644	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
BIONTECH SE-ADR	187	438	7,409	930,792	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
BLUEBIRD BIO INC	703	3,027	1,341	168,484	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
BRIDGEBIO PHARMA INC	—	879	947	119,053	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
[シカゴカ]CHIASMA INC	5,881	—	—	—	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
CHIMERIX INC	—	3,115	1,513	190,187	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
COHERUS BIOSCIENCES INC	1,761	1,206	1,423	178,825	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
CYTOMX THERAPEUTICS INC	—	3,531	865	108,677	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
DENALI THERAPEUTICS INC	422	—	—	—	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
EAGLE PHARMACEUTICALS INC	325	—	—	—	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
EDITAS MEDICINE INC	—	1,051	1,882	236,449	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
ENANTA PHARMACEUTICALS INC	296	—	—	—	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
ESPERION THERAPEUTICS INC	1,234	1,915	1,066	134,026	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
EXELIXIS INC	2,096	1,744	3,902	490,233	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
FIBROGEN INC	—	2,040	2,501	314,246	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
FIVE PRIME THERAPEUTICS INC	936	—	—	—	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
GW PHARMACEUTICALS -ADR	241	—	—	—	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
GILEAD SCIENCES INC	7,976	5,803	35,767	4,493,062	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
GLOBAL BLOOD THERAPEUTICS IN	—	475	1,664	209,114	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
GRIFOLS SA-ADR	8,970	6,969	7,534	946,457	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
HALOZYME THERAPEUTICS INC	2,510	2,185	9,097	1,142,787	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
ILLUMINA INC	194	523	18,037	2,265,922	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
IMMUNITYBIO INC	457	4,101	2,054	258,124	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
INCYTE CORP	3,289	2,136	17,103	2,148,583	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス

銘柄	期首(前期末)	当期末			業種等
	株数	株数	評価額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ・・・米国店頭市場)	百株	百株	千米ドル	千円	
INOVIO PHARMACEUTICALS INC	2,098	—	—	—	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
INTELLIA THERAPEUTICS INC	—	294	1,804	226,656	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
INTERCEPT PHARMACEUTICALS INC	1,005	1,409	2,428	305,022	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
INTRA-CELLULAR THERAPIES INC	1,014	—	—	—	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
IONIS PHARMACEUTICALS INC	—	1,979	7,842	985,224	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
IRONWOOD PHARMACEUTICALS INC	11,243	9,679	11,693	1,468,914	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
LUMINEX CORP	513	—	—	—	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
MODERNA INC	2,049	1,019	16,264	2,043,170	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
MYRIAD GENETICS INC	2,129	1,577	3,759	472,273	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
NEUROCRINE BIOSCIENCES INC	—	586	5,744	721,594	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
NOVAVAX INC	431	422	2,453	308,223	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
OPKO HEALTH INC	2,664	—	—	—	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
PRA HEALTH SCIENCES INC	2,016	—	—	—	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
PTC THERAPEUTICS INC	409	—	—	—	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
PACIFIC BIOSCIENCES OF CALIF	478	1,183	960	120,690	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
PACIRA BIOSCIENCES INC	1,585	647	4,796	602,582	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
PARATEK PHARMACEUTICALS INC	933	4,262	1,099	138,154	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
PRECIGEN INC	761	—	—	—	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
RADIUS HEALTH INC	2,925	3,321	2,776	348,784	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
REGENERON PHARMACEUTICALS	612	471	33,784	4,244,017	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
SANOFI-ADR	3,568	4,260	23,738	2,982,058	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
SAREPTA THERAPEUTICS INC	—	759	6,251	785,323	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
SEAGEN INC	141	317	4,516	567,400	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
SUPERNUS PHARMACEUTICALS INC	2,763	1,074	3,447	433,031	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
SYNEOS HEALTH INC	—	797	6,474	813,343	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
TRAVERE THERAPEUTICS INC	1,227	3,089	8,829	1,109,201	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
TWIST BIOSCIENCE CORP	—	182	821	103,219	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
UNITED THERAPEUTICS CORP	2,148	846	15,806	1,985,572	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
VANDA PHARMACEUTICALS INC	3,091	2,147	2,459	308,931	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
VERTEX PHARMACEUTICALS INC	842	794	22,346	2,807,220	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
VIATRIS INC	—	3,013	3,215	403,953	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
VIR BIOTECHNOLOGY INC	—	404	884	111,110	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
ALKERMES PLC	4,786	4,550	13,069	1,641,764	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
ENDO INTERNATIONAL PLC	—	3,418	840	105,630	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
HORIZON THERAPEUTICS PLC	1,435	1,349	15,166	1,905,197	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
JAZZ PHARMACEUTICALS PLC	1,833	1,029	16,569	2,081,510	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
THERAVANCE BIOPHARMA INC	1,674	1,838	1,745	219,214	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
UNIQURE NV	—	1,153	2,145	269,553	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
WAVE LIFE SCIENCES LTD	1,504	—	—	—	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
合計	株数・金額 銘柄数<比率>	117,524 60	116,045 60	483,730 —	60,766,219 <99.7%>

(注1) 邦貨換算金額は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 邦貨換算金額欄の< >内は、純資産総額に対する各国別株式評価額の比率です。

(注3) 株数・評価額の単位未満は切り捨てています。

(注4) —印は組入れがありません。

■投資信託財産の構成 (2022年4月13日現在)

項目	当期末	
	評価額	比率
株式	千円 60,766,219	% 98.5
コール・ローン等、その他	945,561	1.5
投資信託財産総額	61,711,780	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切り捨てています。

(注2) 当期末における外貨建純資産 (60,249,154千円) の投資信託財産総額 (61,711,780千円) に対する比率は97.6%です。

(注3) 外貨建資産は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、当期末における邦貨換算レートは、1米ドル=125.62円です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2022年4月13日現在)

項目	当期末
(A) 資産	62,277,019,877円
コール・ローン等	945,522,411
株式(評価額)	60,766,219,616
未収入金	565,277,850
(B) 負債	1,324,306,375
未払金	1,191,471,311
未払解約金	132,830,000
未払利息	2,291
その他未払費用	2,773
(C) 純資産総額(A-B)	60,952,713,502
元本	7,755,366,620
次期繰越損益金	53,197,346,882
(D) 受益権総口数	7,755,366,620口
1万口当たり基準価額(C/D)	78,594円

<注記事項>

(貸借対照表関係)

(注1) 期首元本額 9,721,035,163円

 期中追加設定元本額 683,650,222円

 期中一部解約元本額 2,649,318,765円

(注2) 1口当たり純資産額 7,8594円

(注3) 期末における元本の内訳

 ピクテ・バイオ医薬品ファンド(毎月決算型) 為替ヘッジなし
7,085,420,156円

 ピクテ・バイオ医薬品ファンド(1年決算型) 為替ヘッジなし
348,365,799円

 ピクテ・バイオ医薬品ファンド(1年決算型) 円コース
225,700,429円

 iTrustバイオ
95,868,305円

 ピクテ・バイオ医薬品ファンドII(適格機関投資家専用)
11,931円

■損益の状況

当期(自2021年4月14日 至2022年4月13日)

項目	当期
(A) 配当等収益	523,716,264円
受取配当金	521,827,727
受取利息	12,677
その他収益金	2,231,028
支払利息	△ 355,168
(B) 有価証券売買損益	8,384,046,534
売買益	19,127,451,002
売買損	△ 10,743,404,468
(C) その他費用等	△ 15,453,906
(D) 当期損益金(A+B+C)	8,892,308,892
(E) 前期繰越損益金	57,044,209,447
(F) 追加信託差損益金	4,417,779,778
(G) 解約差損益金	△ 17,156,951,235
(H) 計(D+E+F+G)	53,197,346,882
次期繰越損益金(H)	53,197,346,882

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(C)その他費用等にはその他費用に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注4) 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、一部解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

<お知らせ>

ピクテ投信投資顧問株式会社は、2022年7月1日付けで、商号を「ピクテ・ジャパン株式会社」に変更します。